アマとホップのフラワーロード

AMAサポーターズ倶楽部

■AMAサポーターズ倶楽部は2003年に、地域のお花好き仲間を中心に立ち上がったサークルです。毎年、アマの苗の育ての親を募集し、5月に北8条通りの街路花壇にアマとホップを中心とした宿根草や1年花の植栽を行い（アマとホップのフラワーロード）、毎月お手入れ活動を行っています。

■倶楽部には大きくわけて2つの組織があり、1つめはサポーター（155名）でフラワーロードの花植えや水やり・雑草取りなどを行うグループ、2つめは里親（385名）でアマの苗を種から育てるグループです。
※サポーターの内、活動の中心となるリーダーは23名。

■賛同してくださった、企業さんや、町内会さんも次々と参加してくれて、大きな輪になりました。

■会では、花植えやお手入れのほか、ホップを使ってのビール風味飲料つくりやリースづくり、アマをたずねての1泊旅行なども企画しており、楽しいサークルを目指しています（代表　走川　貴美）。

お手入れ活動の様子

アマ&ホップフェスティバル花苗バザー

AMAサポーターズ倶楽部HPアドレス
http://linum.tea-nifty.com/linum/

アマの豆知識

亜麻の花

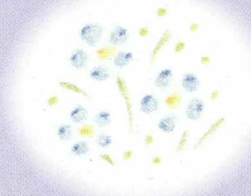
早朝から咲いて、昼頃には散ってしまう一日花です。はかなそうに見えますが、芯の強い女性のようでもありますね。

亜麻色

ヴィレッジ・シンガーズのヒット曲として有名な「亜麻色の髪の乙女」の「亜麻色」は、花の色（青紫）ではなく、茎からとれる繊維の色で、光沢のある淡い金褐色です。

花言葉

亜麻の花言葉は、『あなたの親切に感謝します』。
いつもそばにいてくれる大切な方へ伝えたい一言ですね。



ホップの豆知識

札幌におけるホップの歴史

かつて北海道にはホップが自生していました。1872年、それを発見したお雇い外国人アンチセルが開拓使にホップ栽培を建言。開拓使は市内でホップの本格栽培に着手し、1876年に開業した開拓使麦酒醸造所でのビール作りに活用しました。現在は輸入原料におされ、札幌市内では原料としての栽培はしていませんが、大通公園8丁目やサッポロビール園敷地内に観賞用としてホップが栽培されています。

ホップの好み

ホップは高いところ暗いところ（夜）が好きです。ホップの毬花をつけさせるためには、2メートル以上の高さが必要です。また、夜は光を嫌うので、街灯の下などに植えると花がつかないことがあります。

効能

催眠、鎮静、消化促進といった薬理的作用があります。ぜひ、枕もとに置いてみては。

発行　東区市民部地域振興課
東区民ホームページ
http://www.city.sapporo.jp/higashi/

さっぽろ市
02-Q02-11-456
23-2-39

アマとホップのフラワーロード

かつて札幌市東区の北8条通には、麻の布を生産する「帝国製麻紡績工場」やビール工場などがあり、有数の工業地帯となっていました。

アマとホップのフラワーロード構想は、地域のこの歴史にちなんだアマとホップで北8条通界隈を飾る活動を通して、地域のコミュニティを活性化したりにぎわいを創出したりする構想です。

その活動の主体となっているのは、市民グループ「AMAサポーターズ倶楽部（走川貴美代表）」。町内会や沿道の企業、そして市民の皆さんの協力を得ながら、JR札幌駅→テイセンボウル→サッポロビール博物館・サッポロビール園→アリオ札幌を通り、8の字型でまたJR札幌駅に戻るまでをフラワーロード化する取り組みを行っています。

アマ

アマ科、一年草と宿根草があります。一年草は春にまいて、夏に約二週間青紫の花が咲き、その後種をつけます。宿根草は、一年目は数本の株ですが、二年後からは大株になり、5月末から8月中頃まで咲き続けます。茎は繊維用として、種子は油糧用（亜麻仁油）として、かつて道内各地で栽培されていました。

亜麻の繊維は通気性や吸湿性に優れて肌触りがよいことからリネンと呼ばれ、高級な寝具や衣類などになります。

ホップ

アサ科のツル性多年草、一年で7～8メートルも成長します。

雌雄異株ですが、栽培されているのはほとんどが雌株です。ビールの原料としては、雌株につく未受精のまつかさに似た花（毬花）を、8月から9月に収穫して使います。その中にあるルプリンという黄色い粒が、ビールの苦味と爽快な香りを生み出します。

フラワーロード界隈の見どころ

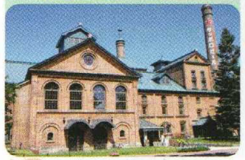
① サッポロビール博物館

（北7条東9丁目）

北海道遺産

レンガ作りの建物内では、135年を超えるサッポロビールの歴史や醸造過程などを紹介。

【問い合わせ】011-748-1876



② 福山醸造株式会社

（苗穂町2丁目）

北海道遺産

1891年に創業し、現在も醤油を製造。レンガ積みのろ過、発酵工場は建築遺産としても価値が高い。

【問い合わせ】0120-120-280

③ 北海道鉄道技術館

（北5条東13丁目）

北海道遺産

明治末期に建てられたレンガ造りの建物の中には、鉄道の歴史に関する貴重な資料が展示されている。

【問い合わせ】011-721-6624

④ 酪農と乳の歴史館

<旧名称:雪印乳業史料館>

（苗穂町6丁目）

北海道遺産

創業当時のバター作りの機器や、工場の模型などを展示。乳製品の歴史や製造工程を知ることができる。

【問い合わせ】011-704-2329

アマの種

※北海道遺産とは…次の世代に引き継ぎたい有形・無形の財産の中から、北海道の豊かな自然、北海道に生きていた人々の歴史や文化、生活、産業などを選んだもの。